

作成日：2026年3月3日（第1版）

2025年1月～2025年12月に名古屋市立大学医学部附属西部医療

センターに外来受診あるいは入院された方へ

「西部医療センターにおける病院と薬局の情報連携の実態調査、および

情報連携が患者アウトカムおよび医療従事者の業務に及ぼす影響の検

討」へのご協力をお願い

1 研究の概要

この研究は、名古屋市立大学医学部附属西部医療センターにおける病院と薬局の情報連携が患者さんの状態や医療従事者の業務に及ぼす影響を検討するものです。2025年1月から2025年12月までに外来受診あるいは入院された患者さんのうち、①薬剤総合評価調整管理料（連携管理加算算定も含む）〔外来時〕算定、②薬剤総合評価調整加算〔退院時〕算定、③退院時薬剤情報管理指導料（退院時薬剤情報連携加算も含む）〔退院時〕算定、④連携充実加算（外来腫瘍化学療法診療料1・イ）〔外来時〕算定、あるいは⑤診療情報提供料（I）等による薬局への在宅指示〔外来時あるいは退院時〕があった18歳以上の患者さんにおいてそのカルテ情報を収集し、分析を行います。病院側が薬局と連携した際に、薬局側から情報提供があったかの実態を調査し、それらの情報連携が患者さんの状態や医療従事者の業務に影響を及ぼすかどうかを明らかにします。研究は、西暦2028年3月31日まで行われる予定です。

なお、①と②は、多くの種類の薬を使用している方に対して薬の内容を評価し、薬の種類を減らす取り組みに対する算定です。③は、退院時に入院中の薬の概要をお薬手帳に記載し薬局等との情報共有を行う取り組みに対する算定です。④は、外来で抗がん剤治療を行う方に関する薬局への情報提供を行う取り組みに対する算定です。⑤は、在宅訪問を行う薬局に対する指示および情報提供のことです。

ご自身またはご家族がこの研究の対象者に該当すると思われる方で、ご質問等がある場合は、「7 相談やお問合せがある場合の連絡先」へご連絡ください。また、情報をこの研究に使ってほしくない場合もご連絡ください。その時点であなたの情報を研究対象から取り除きます。ただし、研究の進捗状況によっては、あなたの情報を取り除くことができない場合があります。

この研究は、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会の審査を受け承認されたうえで、研究機関の長から実施の許可を受けています。また、この研究が適正に実施されているか、継続して審査を受けます。

この委員会にかかわる規程等は、以下のWeb サイトでご確認いただけます。

【名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター “患者の皆様へ”】

URL： <https://ncu-cr.jp/patient>

2 研究の方法

この研究では、研究対象の方の診療情報を電子カルテから収集して利用します。共同研究機関において収集した情報は、電子媒体により研究代表機関である名古屋市立大学大学院薬学研究科に提供します。名古屋市立大学においてデータをとりまとめ、解析を行います。提供された情報は、名古屋市立大学大学院薬学研究科が責任を持って管理します。

3 この研究で用いるあなたの情報の内容について

2025年1月から2026年6月までに外来受診あるいは入院された際の下記の診療情報を利用します。

年齢、性別、併存疾患、使用薬剤、薬剤有害事象の有無、算定後の入院の有無、薬局からの情報共有媒体（トレーシングレポート）、医師・薬剤師・看護師等のカルテ記入記録や診療行為

4 研究の実施体制

この研究は、名古屋市立大学大学院薬学研究科と名古屋市立大学医学部附属西部医療センターが共同で実施します。実施体制は以下の通りです。

研究代表者：名古屋市立大学 大学院薬学研究科・舘 知也

研究分担者：名古屋市立大学 大学院薬学研究科・齊藤 将之

研究分担者：名古屋市立大学 大学院医学研究科・日比 陽子

共同研究機関：名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

研究責任者：薬剤部・佐藤 由美子

5 個人情報等の取り扱いについて

あなたの情報は、氏名等の個人を特定する内容を削除し、代わりに符号をつけた状態で取り扱います。あなたの氏名等とこの符号とを結びつける対応表は、あなたの情報を頂いた機関で厳重に管理し、個人を特定する情報を外部に提供することはありません。また、この研究の成果を学術雑誌や学会で発表する際も、そこに含まれるデータがあなたのものであると特定されることはありません。

6 この研究の資金源および利益相反について

企業等の関与により研究の公正さが損なわれる可能性がある状態のことを、「利益相反」といいます。企業等から研究資金の提供を受けている場合等には、利益相反を適切に管理する必要があります。

この研究は名古屋市立大学の大学研究費により実施するものであり、企業等からの資金の提供はありません。利益相反の状況については、名古屋市立大学大学院薬学研究科医学研究等利益相反委員会に必要事項を申告し、適切に管理しています。

また、共同研究機関においても各機関の規程に従い、適切に対応しています。

7 相談やお問合せがある場合の連絡先

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究の計画について詳しくお知りになりたい場合は、研究に参加している他の方の個人情報や研究の知的財産等に影響しない範囲で、資料をお渡ししたり、お見せしたりすることが可能です。

また、この研究にあなたの情報が利用されることや、他の研究機関へ提供されることを希望されない場合は、電話によりご連絡ください。

【連絡先】

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

電話番号： 052-991-8121

(対応可能な時間帯) 平日10時から16時まで

対応者： 薬剤部・佐藤 由美子

【研究代表機関】

研究機関名： 名古屋市立大学

研究代表者： 大学院薬学研究科・舘 知也

連絡先： 052-836-3434